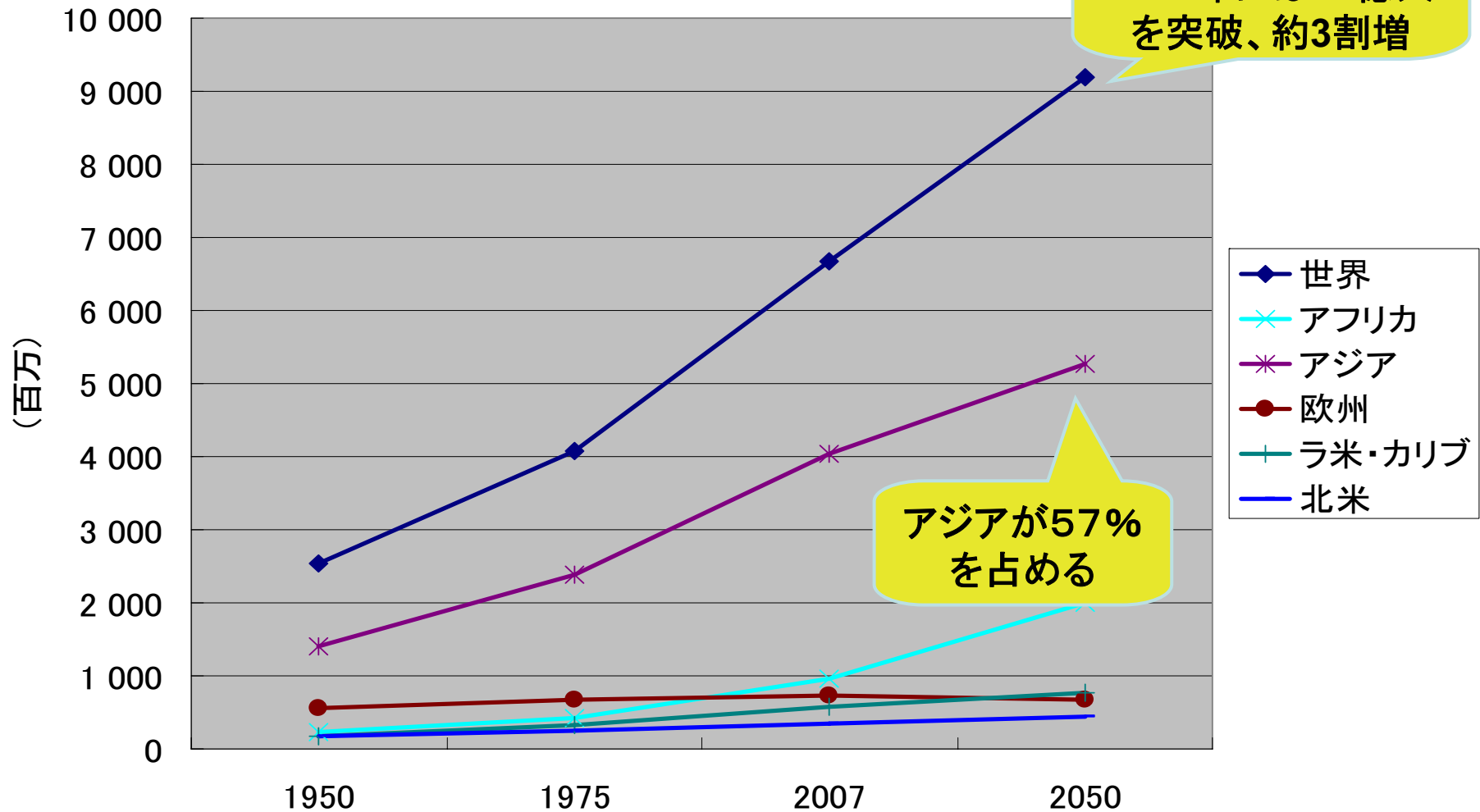


# 持続可能なアジアに向けて必要な 環境人材について

# アジアの環境の実態と今後

## 世界およびアジアにおける人口の実情と将来

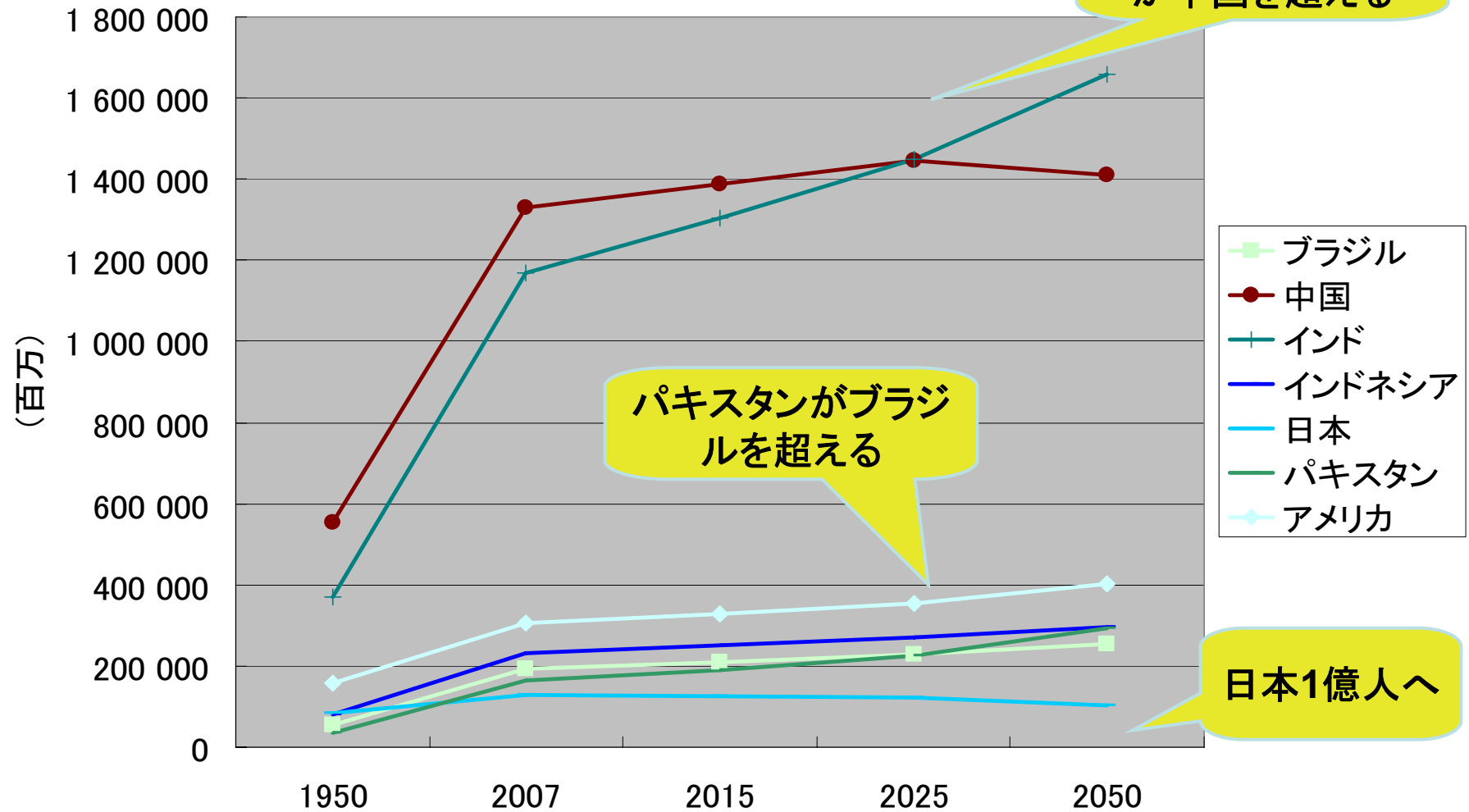
2050年までの世界の人口予測



出所：国連人口部(2007)を基にIGES作成

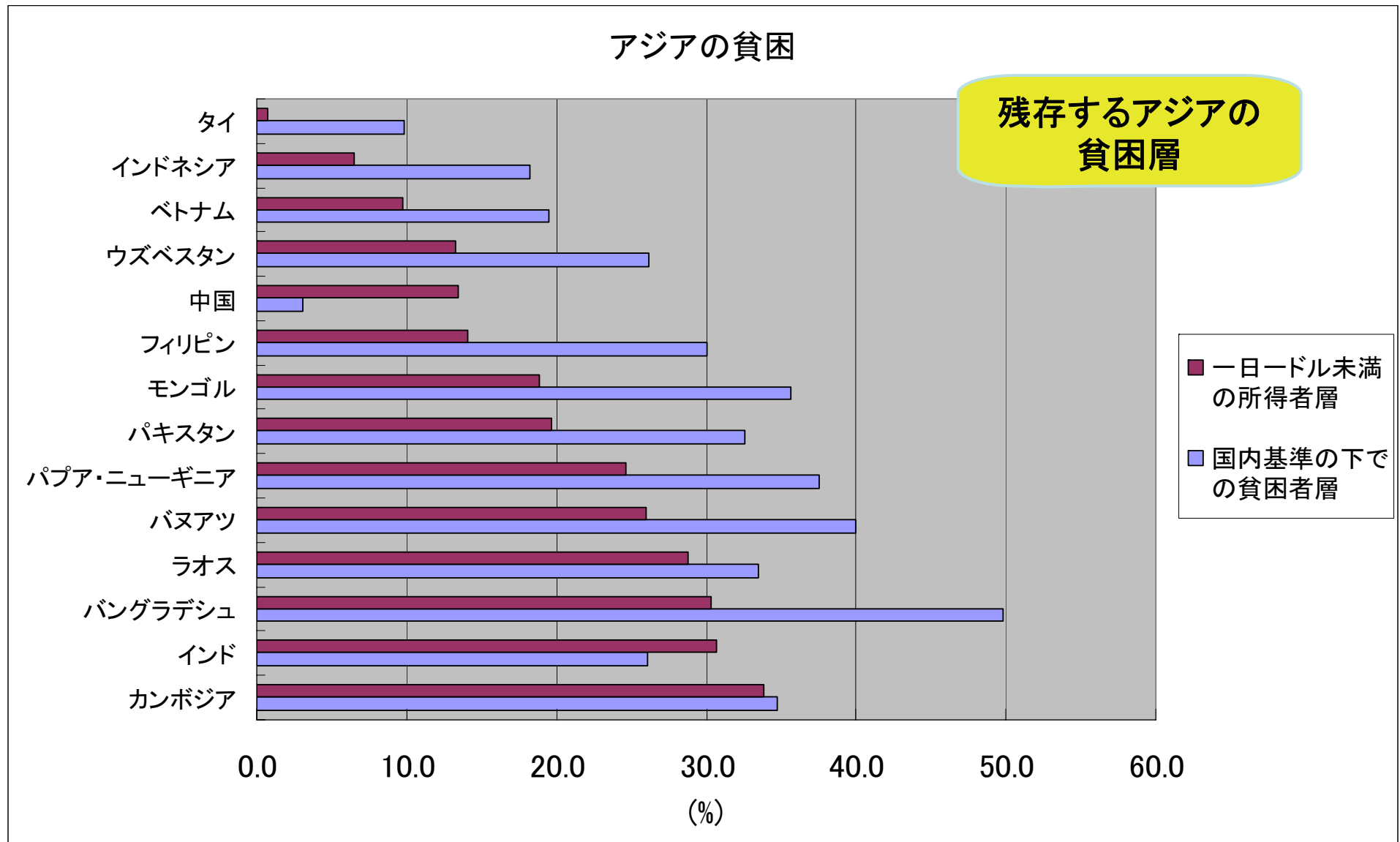
# アジアにおける人口の実情と将来

## 主要国人口将来予測



出所: 国連人口部(2007)を基にIGES作成

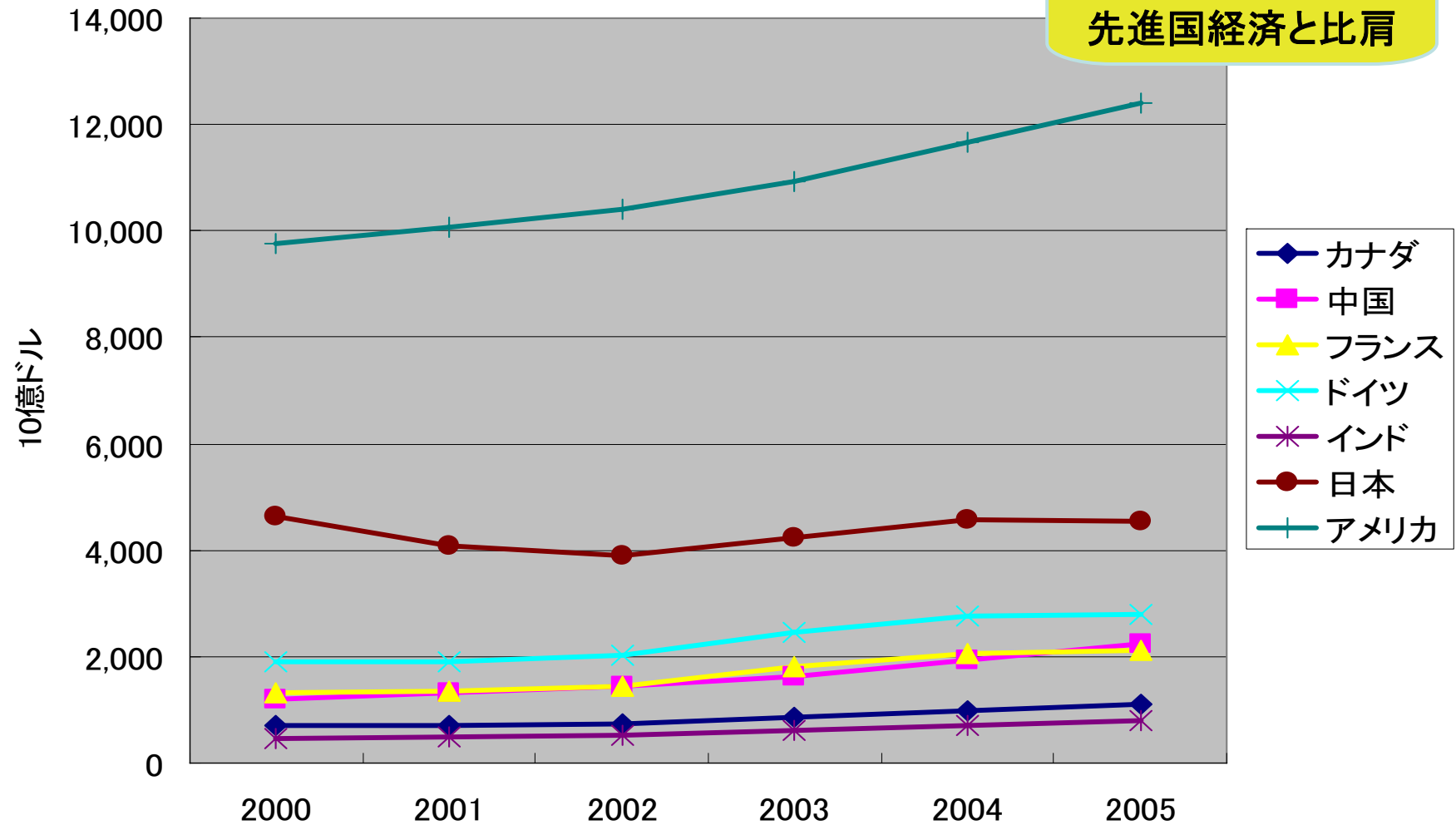
## アジアにおける貧困の現状



出所: アジア開発銀行重要指数(2006)を基にIGES作成(主に2003年のデータ)

## 世界主要国の経済指標の推移

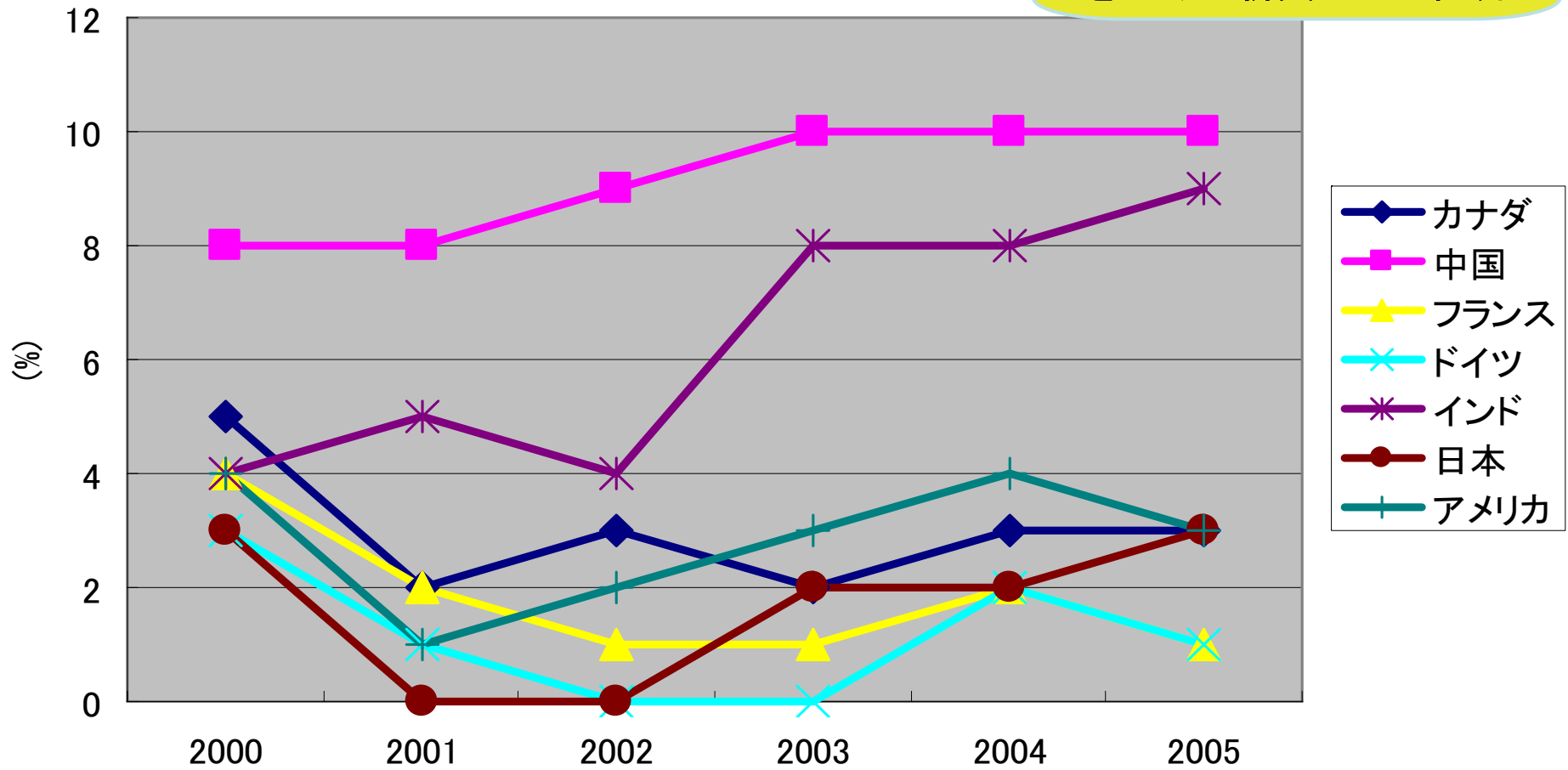
主要国の国内総生産(2000～2005年)



# 世界主要国の経済指標の推移

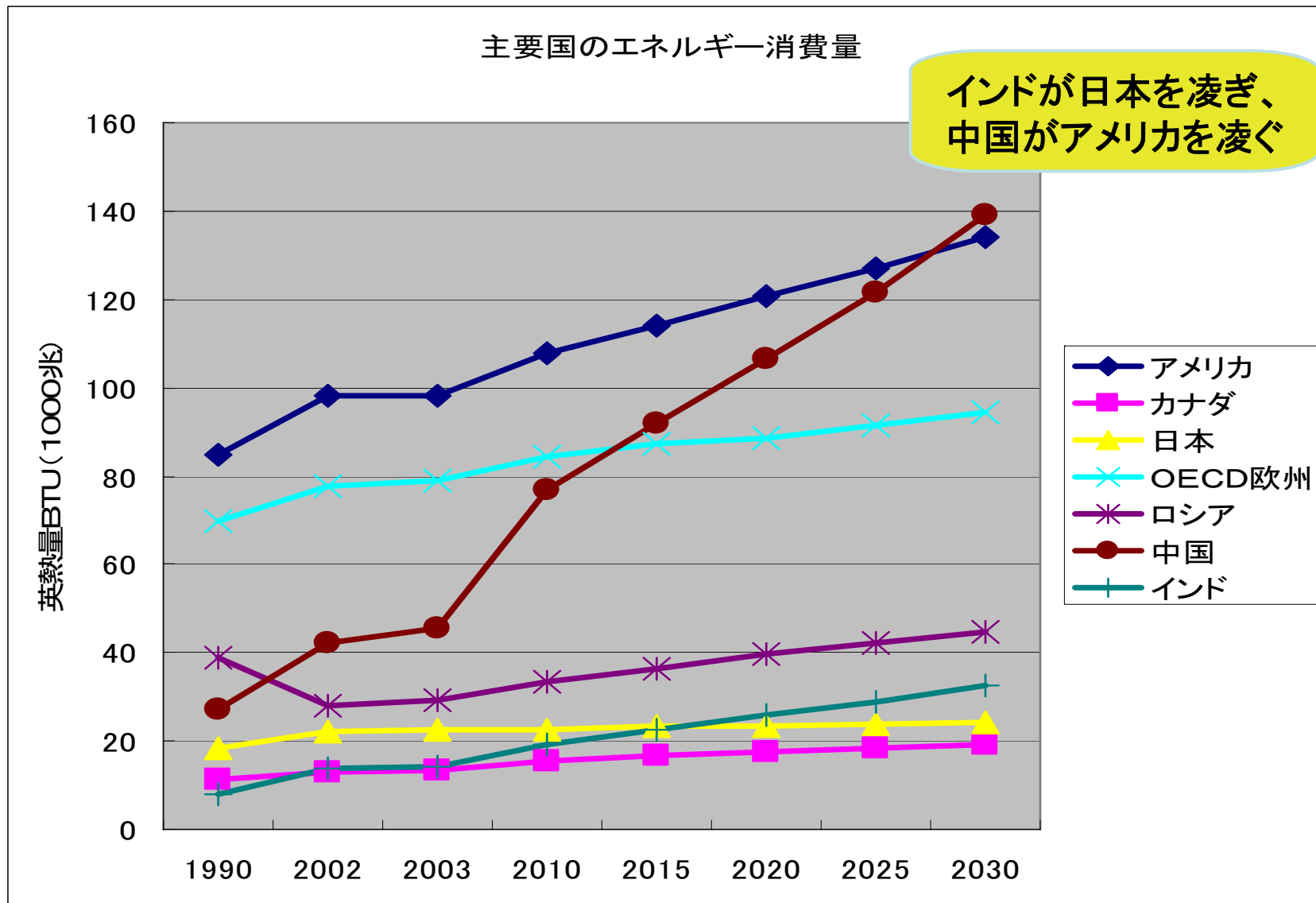
## 主要国の年間経済成長率

先進国をしのぐ堅調な成長  
を遂げる新興アジア経済



出所:世界銀行データベース(2007)を基にIGES作成

# 世界主要国のエネルギー指標の推移と将来予測



出所: 米国エネルギー情報局(2007)を基にIGES作成

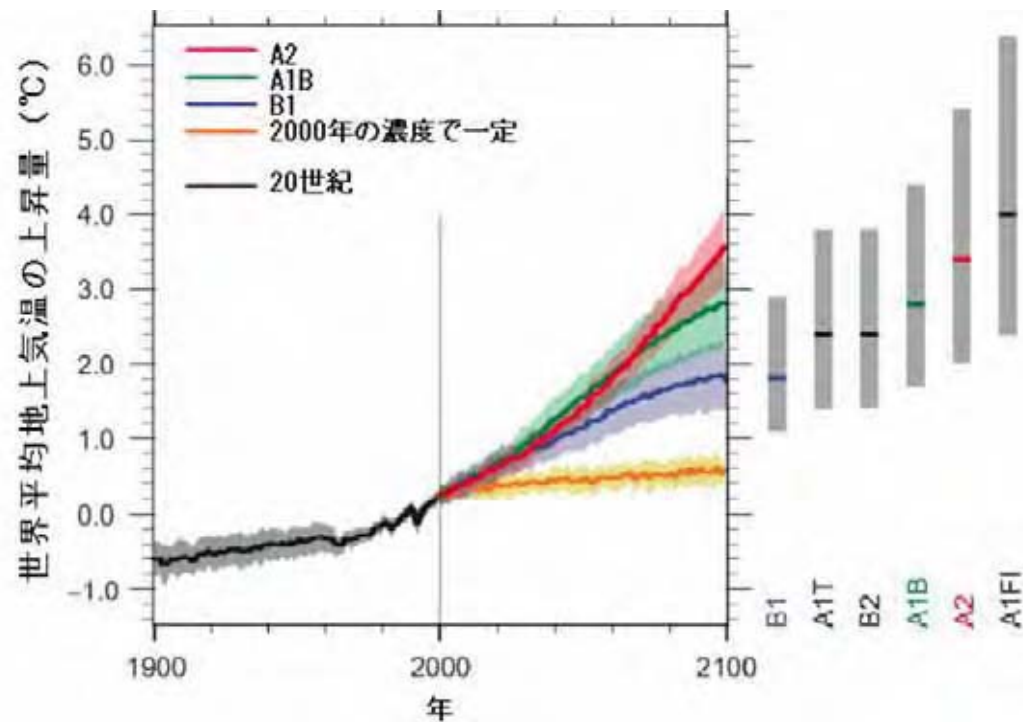


## 地球温暖化の予測

### 将来の気温上昇の予測

- IPCCでは、いくつかの気温上昇のシナリオを作成している。環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会のシナリオでは、1980年から1999年までに比べ、21世紀末(2090年から2099年)の平均気温上昇は1.1～2.9℃と予測する一方、化石エネルギー源を重視する社会シナリオでは、平均気温の上昇を2.4～6.4℃と予測している。

複数のモデルによる地球平均地上気温の上昇量



出典: IPCC 第4次評価報告書第1作業部会報告書

# 地球温暖化によって予測される世界の危機

## ヨーロッパ

- 山岳地域で、氷河の後退、雪被覆の減少、広範な生物種の喪失（高排出シナリオで、ある地域では2080年までに最大60%喪失）
- 熱波と森林火災に起因する健康リスクの増加

## アジア

- 2050年代までに10億人以上に水不足の悪影響
- 洪水と干魃に伴う下痢性疾患の増加
- 沿岸の海水温度の上昇によるコレラ菌の存在量/毒性の増加
- 21世紀半ばまでに、穀物生産量は、東・東南アジアで最大20%増加。中央・南アジアで最大30%減少

## 北アメリカ

- 西部山岳地帯で、水資源をめぐる競争が激化
- 現在熱波に見舞われている都市で、今世紀中に熱波の数、強度、継続期間の増加による健康への悪影響

## アフリカ

- 2020年までに7,500万～2億5千万人に水ストレス
- いくつかの国で、降雨依存型農業からの収穫量が2020年までに50%程度減少
- 21世紀末に海面上昇適応コストがGDPの5～10%に

## ラテンアメリカ

- 今世紀半ばまでにアマゾン東部地域の熱帯雨林がサバンナに徐々に代替
- 多くの生物種の絶滅による生物多様性の重大な損失のリスク

## 小島嶼

- 海面上昇による浸水、高潮、浸食及びその他沿岸災害の悪化による社会資本、住宅地、施設への脅威
- 中高緯度の小島嶼で非在来種の侵入の増加

## オーストラリア・ニュージーランド

- グレートバリアリーフやクイーンズランド湿潤熱帯地帯を含む場所で2020年までに生物多様性の著しい損失

## 極域

- 氷河・氷床の縮小、渡り鳥、哺乳動物及び高位捕食者など多くの生物に悪影響
- 北極では、海水面積・凍土の減少、沿岸浸食の増加、凍土の季節的な融解深度の増加